



自治医科大学附属病院

卒後臨床研修プログラム



URL:<https://www.jichi.ac.jp/hospital/top/resident/>



病院概要

■ 医師数

738名(2026年4月1日現在)

■ 指導医数

421名(2026年4月1日現在)

■ 1日平均入院患者数

862名(2025年度)

■ 1日平均外来患者数

2,490名(2025年度)

■ 救急患者数

9,160名(2025年度)

■ 病床数

1,106床

■ 診療科目



研修医の出身大学

2022年度～2026年度[全国60大学]

■ 研修医数 106名(2026年4月1日現在)

研修医の多くは他大学出身です。
学閥なく全国から集まった仲間と
切磋琢磨しています。

海外

河北医科大学(中国)
中国西南医科大学
中国重慶医科大学
上海交通大学(中国)
ハンガリー国立ペーチ大学

九州地方

久留米大学、産業医科大学
福岡大学、佐賀大学
長崎大学、大分大学
宮崎大学、鹿児島大学

中国地方

鳥取大学、島根大学
広島大学、山口大学

中部地方

新潟大学、富山大学
金沢大学、金沢医科大学
山梨大学、信州大学

四国地方

徳島大学
香川大学
高知大学
愛媛大学

近畿地方

京都大学
大阪医科薬科大学
関西医科大学
神戸大学
奈良県立医科大学

東北地方

弘前大学
岩手医科大学
東北大学
東北医科薬科大学

関東地方

筑波大学
自治医科大学
獨協医科大学
群馬大学
埼玉医科大学
国際医療福祉大学
杏林大学
昭和大学
昭和医科大学
帝京大学

北海道

旭川医科大学

秋田大学
山形大学

福島県立医科大学

東京大学
東京医科大学
東京慈恵会医科大学
東京女子医科大学
東邦大学
日本大学
日本医科大学
北里大学
聖マリアンナ医科大学

沖縄

琉球大学

自治医大附属病院は、
初期研修医～専攻医に至るまで、全力でサポートします。



総合力のある
専門医育成を目標に、
恵まれた環境の中、
スタッフが丁寧に指導します。

病院長

川合 謙介

この度は、自治医科大学附属病院での初期臨床研修に興味を持っていただき、有り難うございます。

当院での研修には以下のような特長があります。

1. 学閥・派閥のない自由な雰囲気

自治医科大学卒業生は栃木県出身者以外は出身都道府県で研修を行います。そのため、当院のレジデントのほとんどは自治医科大学以外の卒業生で、出身大学はさまざまです。2022年度～2026年度には、全国60大学から卒業生を受け入れています。

2. 優秀で熱心な指導医と充実した研修プログラム

当院では2年間の初期研修から専門医研修、その後の教育・トレーニングまで、熱意のある有能な指導医が丁寧に指導を行っています。また、当院は、早くから新専門医制度に対応したプログラムを構築しており、基本19領域すべてにおいて基幹施設としてのプログラムを有します。

さらに、卒後臨床研修センターと地域臨床教育センターが連携し、ジュニアレジデントからシニアレジデントへシームレスな教育・トレーニング体制を整備しています。毎年多くのジュニアレジデントがそのままシニアレジデントに進級しています。

3. さまざまな関心領域に対応できる

豊富な症例と高度の診療

自治医科大学附属病院は、許可病床数1,106床、47診療科の特定機能病院です。栃木・県南医療圏の基幹病院であると同時に、周辺の隣接県(茨城県筑西・下妻医療圏、古河・坂東医療圏、埼玉県利根医療圏など)からの受診者も多く、2025年度の

入院患者数は延べ340,915名、外来受診者数は延べ602,645名、総手術件数は11,334件と、大学附属病院として多くの患者さんを受け入れています。

さまざまな小児専門診療科を集めたとちぎ子ども医療センターは当院の特長の一つですが、その他にも、総合周産期母子医療センター、重症心不全治療部、無菌治療部、成人先天性心疾患センター、脳卒中センター、てんかんセンター、糖尿病センター、リウマチセンターなど、common diseaseからrare diseaseまでさまざまな特殊有床部門やセンターと専門指導医を有していますので、幅広く研修医の皆さんの関心領域に対応することができます。高度急性期医療・救急医療はもちろんのこと、へき地医療を大きな柱の一つとする自治医科大学の特性として充実した総合診療・地域医療の教育研修を提供しているのも当院の特長の一つと言えます。

4. 働き方改革への確実な対応

働き方改革に対して、早くから裁量労働制、変形労働制を導入し、業務の効率化、タスクシフティング・タスクシェアリングに積極的に取り組み、負担軽減を実現しています。特に看護師の特定行為については、自治医科大学は看護師特定行為研修センターを2015年に設立し、全国に先駆けた取り組みを行っています。

皆さんには、このような恵まれた環境で、医師としての最初の2年間を過ごしていただき、しっかりと臨床の実力を身につけていただきたいと願っております。皆様のご入職を、職員一同、心よりお待ちしております。

研修理念

心:メンター制度の導入

- ・年齢の比較的近い指導医が研修全般をサポート

技:教育コンテンツの充実

- ・豊富な症例数
- ・講義、実技セミナー(エコーや外科手技)
- ・シミュレーションセンター24時間化

体:楽しく健康に過ごす

- ・体育館、ジム、プールなどの施設も完備



卒後臨床研修センターからのメッセージ



卒後臨床研修センター
センター長
内科学講座
呼吸器内科学部門
教授

間藤 尚子

自治医科大学は、「医療の谷間に灯をともす」を建学の精神として掲げ、地域医療を担う人材を育成し開学50周年を迎えました。その理念は附属病院にも根付いており、栃木県の地域医療の拠点として1次から3次医療まで幅広く担い、さらに初期研修から総合力を培うべく開院当初からスーパーローテート研修制度を導入しています。現在も30以上の診療科が高い診療レベルの元で指導を行い、さらに経験した症例は学会発表、論文作成を通じて発信する支援をしています。

このほか特記すべきは、自治医科大学の卒業生は基本的に出身県で初期研修を行うため、研修医の殆どが他大学出身者という事です。男女比もほぼ同等であり、出身大学・性別に関係なく個々を伸ばせるよう、自由闊達な空気が流れています。

初期研修医の皆さんの将来は可能性に満ちています。臨床医学、基礎医学問わず様々な道が拓けています。医学に対する知的好奇心を絶やさず、全力で初期研修を駆け抜けられるよう、我々もしっかりバックアップしていきます。お待ちしております。

指導医からのメッセージ

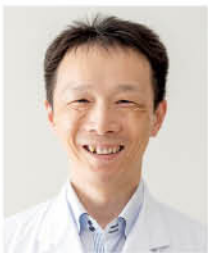


卒後臨床研修センター
副センター長
循環器内科 講師

小森 孝洋

初期研修先を選ぶにあたり、研修医の皆さんが重要と考える点の一つは、ここで研修した場合に自分の理想の医師になれるかということであろうかと思います。自治医科大学附属病院は大学病院ならではの複数の診療科と数多くの指導医を有しており、研修プログラムも自由度高く組むことができるため、あなたの目標実現をサポートできると思います。通年で行われている研修医向けセミナーや講習会も知識の獲得に役立ちます。初期研修期間中の住居、給与など福利厚生面も万全です。厳しくも楽しい研修医生活をともに頑張る研修医の同僚・先輩も大勢います。

自治医科大学附属病院で、あなたの医師生活の第一歩を踏み出してみませんか。当院の研修環境を活用して、あなたの目標に向けて頑張ってください。我々指導医もあなたを時に厳しく時にやさしく見守りながら、理想の医師へ近づけるようお手伝いします。自治医科大学附属病院でともに働ける日が来ることを期待しています。



卒後臨床研修センター
副センター長
総合診療内科 講師

山本 祐

医師としての第一歩を踏み出す初期臨床研修は、臨床能力を飛躍的に伸ばす貴重な機会です。自治医科大学附属病院では、最先端の医療技術を駆使した高度な専門治療から、地域医療で重要な役割を果たすCommon diseaseへの対応まで、多岐にわたる診療経験を積むことができます。この幅広い経験を通じて、適切な判断力と迅速な行動力を養い、皆さんの成長を全力でサポートします。

また、当院では看護師、薬剤師、リハビリテーションスタッフなど、多職種との協働が日常的に行われています。この環境でコミュニケーション能力を磨きながら、「オール自治医大病院」として地域社会に健康と安心を届ける使命を果たしています。一人ひとりがチームの重要な一員として活躍できる場が整っています。

充実した指導体制のもと、皆さんが自信と実力を兼ね備えた医師へと成長する道筋を用意しています。ぜひ私たちとともに学び、挑戦してください。皆さんと働ける日を心より楽しみにしています。

プログラムの目的と特徴

基本的には自治医科大学附属病院内において2年間の臨床研修の目的が達成される基幹型臨床研修病院型プログラムを提供します。ただし、一定期間学外の協力病院及び協力施設等において研修できる事もあります。必修研修科目の一つである「救急部門」は自治医科大学附属病院救命救急センター(1次から3次救急を担当)で研修します。

自治医科大学附属病院卒後臨床研修コースならではの特徴

- 多くの優秀な指導医と同僚に囲まれた環境で、総合的な臨床能力を習得
- 豊富な症例を通じた興味ある専門分野の臨床経験
- 多彩な研修医向け教育講演、セミナー等の開催実績
- キャリアプランに応じた自由度の高いローテーションプログラム

研修プログラム

当院における初期臨床研修プログラムは3つあります。(併願可能)

1. 基本プログラム(定員 54名)
2. 小児科プログラム(定員 2名)
3. 産婦人科プログラム(定員 2名)

■ 研修病院タイプ 基幹型

研修プログラム 特色①

救急科+麻酔科+ICU研修により、急性期の対応力・手技取得を強化

1年目から重症管理を経験できるプログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週)					救急 (8週)		外科 (4週)	小児 (4週)	自由選択枠 (8週)		
2年目	産婦 (4週)	精神 (4週)	麻酔 (8週)	ICU (4週)	地域 (8週)		自由選択枠 (20週)					

救急科：専用病棟があり、研修医が主治医デビューできる環境

麻酔科：0歳～高齢者の麻酔まで、幅広い年齢層での研修ができる

ICU：closedでICU専任医師が管理 重症症例の管理が研修できる

研修プログラム 特色②

1年目から自由選択枠で希望の診療科を選択可能

志望科を早めに回ることもでき、研修途中での変更も可能

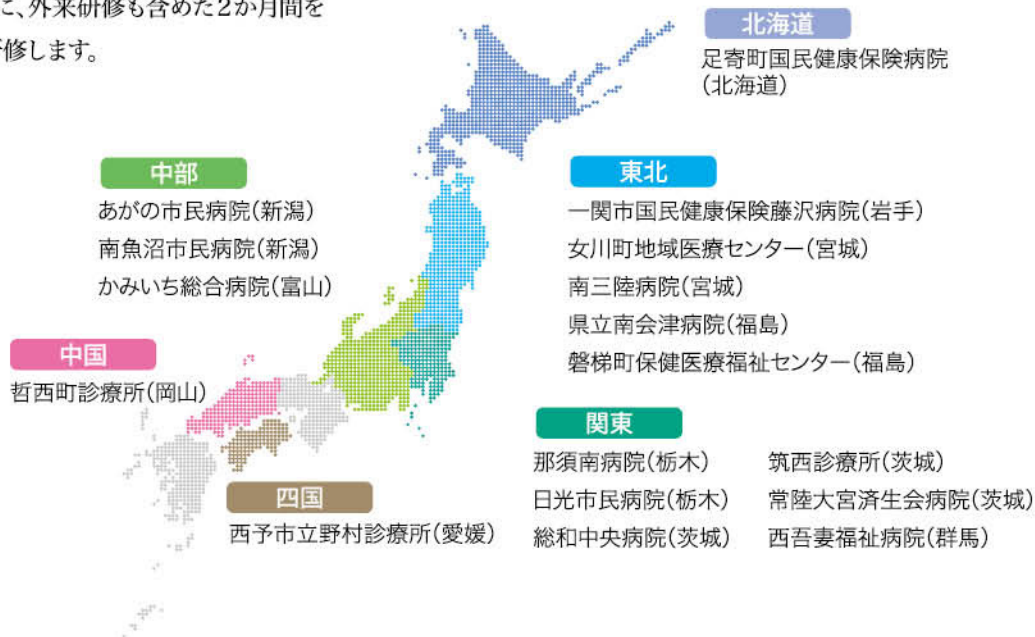
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (16週)			自由選択枠 (8週)		救急 (8週)	外科 (4週)	小児 (4週)	産婦 (4週)	精神 (4週)		
2年目	自由選択枠 (12週)		麻酔 (4週)	ICU (4週)	地域 (8週)		内科 (8週)	自由選択枠 (12週)				

市中病院での外科研修あり 虫垂炎や鼠径ヘルニアなどで執刀も可能！

その他診療科 市中病院などでの研修も可能

地域研修

初期臨床研修2年目に、外来研修も含めた2か月間を全国各地の病院で研修します。



当直体制について

必ず指導医とペアを組んで行います。 **1ヶ月の当直回数**・3回程度

当直の開始時期・1年目の6月から開始

初期臨床研修医セミナー

●e-learning

厚労省が発表している「臨床研修の到達目標」に即した、経験目標に記載されている項目をベースに、全60回シリーズでe-learningセミナーとしてアップしており、研修医が空いた時間にいつでも自由に視聴することができますようになっています。初期研修医は2年間ですべてのe-learningを視聴することを努力目標としています。

各演者の先生方には、特に以下のような点をお願いしています。

1. 知識の整理よりも現場の経験やエッセンスを伝えることを重視しており、プレゼンテーションは知識のレビューのみでなく、症例をベースにする。
2. 病棟や救急外来でレジデントが直面した問題についてどう考えたらいいかという視点で話してもらおう。
3. 他科からコンサルトする際に何に注意すればよいかもスライド1枚にまとめよう。
4. 「今日から使える知識」として、ぜひこれだけは知っておいてほしいという内容をスライド1枚にまとめよう。

●内科レジデントカンファレンス

レジデントカンファレンスは自治医科大学内科学講座が開催しているカンファレンスで、内科学の各講座から症例を出して、ディスカッションするというものです。以前は朝に行われており、カンファレンスの内容をまとめた本も出版されました(自治医科大学内科モーニングカンファレンス:メジカルビュー社)。月2回、昼の12:30から30分間とし、研修医の先生が受け持った興味深い症例をプレゼンテーションしています。さまざまな主訴で入院した症例について、主訴、病歴、検査所見など徐々に出していき、聴衆に鑑別診断を考えてもらい、最終診断を示し、最後に診断、治療法をまとめ、Take home messageを述べてもらうという内容です。プレゼンテーションする側と、聞く側の両方が勉強できるカンファレンスです。学生も含めて毎回多数の参加者があり、好評です。

●その他

当直が開始される前に、押さえておきたい手技を習得するためのスキルアップセミナーや、各種診療科のハンズオンセミナー、BLS講習会やICLS講習会など多数開催されています。

初期・後期研修のつながり

初期研修修了後、後期研修に進むことができます。当院では、多くの初期研修医がそのまま後期研修に進みます。これは、症例数が非常に多いことと、最新の設備を揃えていることに加え、指導医の層が厚いことも理由の一つです。豊富な知識と経験を持つ多くの医師から、直接指導を受けられる環境にあります。また、研修医のうちから学会発表や、当大学の学生を教える機会を与えられますので、教育的環境の下で自身の理解を深めながら学ぶことができます。

後期研修修了後は、大学病院という特徴を生かして、専門臨床医はもちろん、大学院進学や海外留学などの多様な選択肢があり、各個人のキャリアパス設計をサポートします。



BLS講習会



身体拘束セミナー

新専門医制度について

自治医科大学では、症例数や指導体制が充実しておりますので、19領域すべての専門医を取得できます。

詳しくは卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください。

Q&A よくある質問

Q 学閥がない(卒業生が残らない)と聞きましたが？

A 自治医大生は、卒業後は出身県に戻り、決められた期間出身県での勤務をします。(いわゆる義務年限)。このため、附属病院の初期研修医のほとんどが他大学出身で、これまでに全国60大学から集まっています。(2022年度～2026年度実績)

Q 研修医用の宿舎はありますか？

A 大学病院敷地内にレジデントハウスを用意しています。家賃は駐車場1台分込で11,000円/月。部屋はワンルームマンション形式で、その他にトレーニングルームや大浴場、コインランドリーなどを完備しています。管理人も24時間常駐しておりますので、女性にも安心です。宅配便の受け取りにも対応します。

Q 当直の回数はどれくらいですか？

A 月に3回程度です。病棟当直と、救急外来の当直があります。

Q 入局先に迷った場合、2年目の研修はどのようにしたら良いですか？

A 候補となる診療科を2年目の前半までに回ることをお奨めします。第一希望に考えている診療科を最優先に、ローテーションを組むようにしています。

Q 初期研修中に妊娠・出産した場合、2年間で初期研修を修了することはできますか？

A もちろん可能です。研修期間(2年間)を通じた休止期間の上限は90日まで認められています。

実際に初期研修中に出産し、2年間で研修を修了した女性研修医もいます。出産前後のローテーションはご本人の希望を最大限尊重します。

Q 初期研修修了後の進路について教えてください。

A 当院では、多くの初期研修医が専門医研修に進みますが、各診療科における専門医研修の他、地域医療プログラムや国内外への留学、大学院進学など、進路は多様です。自治医科大学附属病院の特性を生かした選択肢となっています。

初期研修修了	→ 自治医科大学附属病院 入局
	→ 他大学病院
	→ 一般病院
	→ 診療所
	→ 大学院
	→ 国内外留学



ジュニアレジデント2年
野添 瑞貴 先生
帝京大学出身

全国から集まる優秀な研修医の仲間と共に切磋琢磨。 豊富な症例を経験できて、多くを学ぶことができる。

小学校の卒業文集に「血液内科医になりたい」と書くほど、血液疾患に興味がありました。研修先として、医学生の際には学べなかった「CAR-T細胞療法」が自治医科大学附属病院ではできると、小児血液の分野も学びたかったので、「とちぎ子ども医療センター」を併設していることが決め手になりました。研修開始当初は、同期の人数が多く、人間関係や症例を十分に経験できるか不安でしたが、今は全国から優秀な同期が集まり、情報交換しながら切磋琢磨できる環境に恵まれ、メリットをすごく感じています。また、臨床の現場では、知識だけにとどまらない例外的な症例や、社会的な調整が必要な症例もたくさん経験でき、広い視野とともにスピード感をもって考察することの重要性を深く学ぶことができています。

1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
血液科		腎臓内科		アレルギー・ リウマチ科		救急救命 センター		ICU		産婦 人科	小児科

1日のスケジュール 血液科



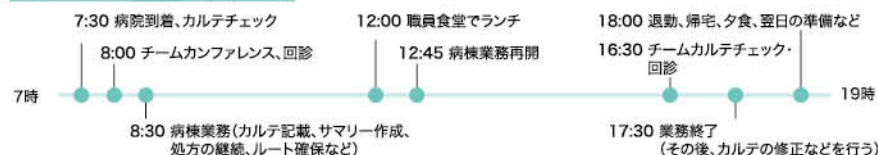
実践を想像以上に積み重ねられることができ、 研修医の裁量も大きく、責任感を持って臨める環境。

母が栃木県出身で、以前から自治医科大学附属病院を知っており、祖父の入院で何度か来院したことがありました。救急科を見学した際、上級医の研修医に対する指導が手厚い印象を受け、充実した2年間を送れると思ったため初期研修先を選びました。本院は患者数、症例数ともに多く、幅広い分野で実践を積む研修生活を送ることができています。研修医の裁量が大きい印象があり、簡単な処方の変更や検査結果を確認しての判断などについて上級医に提案することもあります。提案の採否に関わらず、上級医のお考えを教えていただけたり、より良い選択肢を示していただけたりと、とても勉強になります。この先は消化器内科に進むことを考えています。2年目には「内視鏡ローテ」を選択することができ、研修医の段階から内視鏡の手技を集中して学べるのはありがたいことです。

1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器内科		内分泌代謝 内科		呼吸器内科		ICU		救急救命 センター		小児科	産婦 人科

1日のスケジュール 消化器内科



ジュニアレジデント2年
山形 祐太 先生
産業医科大学出身



シニアレジデント1年
九鬼 朝美先生
弘前大学出身

冷静に正確な判断ができる小児科医を目指し、 上級医の診察手技から、患者さんを観察する力を学んだ。

毎年、母校から何名かが自治医科大学附属病院での初期研修を選択しており、医学部1年次から本院での初期研修を知っていました。小児科志望なので、決め手はやはり「とちぎ子ども医療センター」を併設していることです。小児科を中心にローテーションを組みましたが、小児の腫瘍にも興味があり、2年目で放射線治療科を2カ月間研修して、放射線治療をしっかりと学ぶことができました。上級医から、データだけでなく、患者さんのベッドサイドに足を運び、身体所見、顔色、訴えをこまめに確認することが大事だと教わりました。わずかな変化を察知できるようになった時、仕事としてのやりがいを感じています。小児科医局に入局し、4年目の小児科専門医試験に向けて頑張り、忙しくても、冷静に正確な判断ができる小児科医になりたいです。

1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器内科		小児科	精神科	小児科	産婦人科	血液内科		アレルギー・リウマチ科		救急救命センター	

2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔科		放射線治療科		小児科		地域研修		小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	画像診断科

1日のスケジュール 小児科



地域医療の最前線で、面倒見のよい先生や医療スタッフに恵まれ、 研修医指導は非常に充実し、多くを学べていることを実感。

医学生時代から小児心臓血管外科医を志望し、とちぎ子ども医療センターを併設する自治医科大学附属病院の小児・先天性心臓血管外科・小児科・救急科などを見学し、いずれの分野でも非常に高度な診療を目の当たりにして、本院を選びました。地域医療を重視する大学病院であり、日々の臨床業務を通して、学術的根拠に基づく診療から、個々の患者背景に寄り添う態度・姿勢まで、多くのことを学ぶ機会に恵まれています。面倒見のよい先生や医療スタッフが多く、ローテーションした診療科の先生方とはその後も垣根を越えて関わるなど、院内には尊敬できて頼りになる先輩方がたくさんいらっしゃいます。現在は心臓血管外科に所属する外科専攻医で、チームの一員として周術期管理、手術助手などをしており、一つ一つ勉強を積み重ねています。

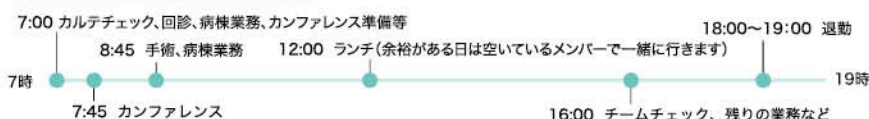
1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児外科	小児心外	精神科	心臓血管外科	小児科	産婦人科	消化器内科		循環器内科		麻酔科	

2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急救命センター		地域外科研修		画像診断科	内分泌代謝科	腎臓内科		地域研修	小児科(NICU)	呼吸器外科	感染症科

1日のスケジュール 心臓血管外科



シニアレジデント1年
坂本 新先生
群馬大学出身

充実した設備・生活環境

研修医の皆さんのために、大学病院敷地内にレジデントハウスを用意しています。2012年に新棟が完成し、トレーニングルームなども設置され、今まで以上に快適な住まいとなりました。また、管理人が常駐していますので安心です。宅配便の受取にも対応します。病院から近いので、忙しい研修期間を過ごすには最適。家賃の安さも魅力です。



219戸、7階建てのレジデントハウスは、2012年に完成

1居室の広さは約6.8畳と、一人暮らしには十分な広さ



自治医科大学レジデントハウス概要

【個室】 面積：25.8㎡(バルコニー含む)

設備：2口IHコンロ付きカウンターキッチン、エアコン、トイレ、バス、洗面所、クローゼット、バルコニー、インターネット端子、TV端子(BS受信可)、駐車場

【共用施設】 1階：エントランスホール、ラウンジ、メールコーナー、管理人室、コインランドリー室、大浴場 2階：トレーニングルーム、談話室

【家賃】 11,000円/月 ※電気代等は実費負担

医学部教育研究棟



医学部の教育・研究棟は、講義や実習のための教室や研究室、セミナー室を数多く配した最新の教育・研究設備です。

図書館



自治医科大学図書館は24万冊の蔵書を誇ります。数多くの電子ジャーナルを提供しており、UpToDateなども学内のどこからでも自由に使用できます。保健医療関係の統計資料も多数収集しているほか、視聴覚資料も充実しており、オンデマンド配信もしています。

メディカルシミュレーションセンター



メディカルシミュレーションセンターは、学生の臨床教育、病院の医療従事者の技術習得および地域医療を支援します。救急蘇生、診断、検査などの教育訓練用シミュレータを備えるだけでなく利用しやすい環境も備えています。

新館南棟 (2018年11月に本格始動しました)

自治医科大学附属病院では、患者の皆様に良い医療サービスを提供していくため、新館南棟を建設いたしました。手術室や集中治療室などを増強し、高度化・多様化する医療ニーズに対応しています。

- 5F・・・スカイラウンジ(J-sky)
- 3F・・・中央手術部
- 2F・・・集中治療部
- 1F・・・救命救急センター、病理診断部



Jプラザ

附属病院に併設されたJプラザには和洋中のレストランの他、カフェやコンビニエンスストアなどが設置されています。また薬店や理容室などもあります。ほとんどの買い物はこちらで済ませる事ができます。



職員食堂

栄養バランスに配慮した豊富なメニューが自慢です。



採用試験情報

■応募資格

1. 2026年度医師免許取得見込者（第121回医師国家試験受験予定者）
2. 医師免許取得者（ただし初期臨床研修を未実施の者）
3. 2026年医師臨床研修マッチング協議会のプログラムに参加・登録する者

■選考内容 小論文、面接試験

■選考日程 2026年7月～8月

※受験者に大学規程による交通費を支給します。詳細はお問い合わせください。

■応募書類受付締め切り 2026年7月10日（金）

■募集予定人数 58名（2026年度募集対象、本学卒業生を含む）

- 1 基本プログラム 定員 54名
- 2 小児科プログラム 定員 2名
- 3 産婦人科プログラム 定員 2名

■処遇

- 身分：病院職員 ●報酬：標準的年間給与 約480万円
- 社会保険・労働保険の扱い：日本私立学校振興・共済事業団 労働者災害補償保険法の適用…有り、雇用保険…有り
- 健康診断：年1回実施
- 休暇：有給休暇…一年次20日、二年次20日 夏期休暇…有り、年末年始…有り、その他…誕生日休暇、傷病休暇、産前産後休暇等
- 宿舍：レジデントハウス ※設備等詳細については、9ページをご覧ください。
- 福利厚生施設：日光研修所、北軽井沢山荘、テニスコート、プールなど
- 育児支援：医師・研究者キャリア支援センター、短時間勤務制度、パパ休暇制度、パパママ育休プラス制度
- その他：外部の学会、研究会等への参加…可（学会の演題発表者には旅費を支給）、受動喫煙の対策あり（屋内禁煙）

■病院見学 交通費支給！

随時受付中です。裏表紙の応募連絡先までご連絡ください。貴大学から当院までの往復交通費を補助します（但し年1回、当院規程額）。宿泊を希望される場合は、レジデントハウス等の構内住宅をご利用できます（3泊まで無料）。

■初期研修医採用状況

※マッチング定数は自治卒業生を除いた数

採用・マッチング状況	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
マッチング定数(※)	58	59	58	59	58	57	53	53
受験者数	62	72	115	121	100	89	130	125
マッチング数	32	43	58	45	50	36	50	48
二次募集(マッチング外)採用者	10	9	1	0	4	10	0	0
採用者数(卒業生除く)	36	49	55	42	50	43	46	45
女性数(内数)	13	23	34	17	22	16	25	19
自治卒業生	6	5	6	5	6	5	6	5
採用者合計	42	54	61	47	56	48	52	50
臨床研修修了者数(卒業生除く)	35	50	53	45	49	43	—	—
シニア進級者	27 (77.1%)	28 (56.0%)	38 (71.7%)	21 (51.2%)	28 (57.1%)	26 (60.5%)	—	—



外来



とちぎ子ども医療センター

ヘリポート (2023年9月竣工)



立体駐車場屋上にヘリポートが整備され、県内外から救急患者を受け入れています。

放射線治療棟 (2023年11月竣工)



放射線治療棟には、最新鋭の放射線治療装置を複数台配備し、一流のスタッフが高精度で身体への負担が少ない最先端の放射線治療を行っています。

全国医学生対象の夏季・春季セミナー開催のお知らせ

毎年恒例の医学生対象の夏季・春季セミナーを今年も開催予定です！ 経験豊富な講師陣が参加者一人ひとりに親切・丁寧に指導いたします。当院の豊富な設備を利用できる他、興味のある診療科の手技などを幅広く体験することができます。みなさまのご参加をお待ちしております。

夏季
セミナー

2026年7月18(土)・19日(日)(予定)

春季
セミナー

2027年3月(予定)

[開催日は秋頃にホームページでお知らせします]

2026夏季セミナー in Jichi

医学部4～6年生を対象としたセミナーです。各クールの選択種目の中から自分が興味のあるセミナーをひとつずつ選択することができます。※各選択種目で定員を超えた場合は、学年順で調整させていただくこともあります。

■7/18(土)プログラム(予定)

12:30～13:00	受付
13:00～13:15	開会式
13:30～15:00	第1クール
15:15～16:45	第2クール
17:00～18:00	クエストJ(自治医大版謎解き)
終了後	懇親会

■7/19(日)プログラム(予定)

9:00～ 9:15	受付
9:30～11:00	第3クール
11:15～12:45	第4クール

選択種目内容 (2026春季セミナーより)

[1クールにつきひとつのセミナー(種目)を選択できます]

※以下の種目を第1クール～第4クールに振り分けます

- 産婦人科診療の基本的な手技をやってみよう ●血液科医になるう
- 放射線治療を計画しよう! ●臨床推論をやってみよう!
- 呼吸器内科の手技を実際に体験してみよう ●外科の診断・治療手技を体験してみよう!
- 白内障手術を体験しよう! ●心エコーハンズオン
- 基本手技を練習しながらレジデントに何でも質問する会
- 国試対策もバッチリ!エコーガイド下CV穿刺&急変対応体験
- ブタ心臓を用いた人工弁置換術を体験しよう●触れて学ぶ整形外科:ハンズオンで踏み出す第一歩
- 小児二次救命処置(PALS)+小児科手技(ルート確保)を体験してみよう●皮膚科外来ってこんなところ!体験してみよう!
- 君も小児心臓外科医を目指してみないか●腎生検と体成分測定を体験してみよう! ●チャレンジ内視鏡、腹部エコー ●パトグラフィー入門



※セミナーのタイトルは変更になる可能性があります。最新の情報はホームページを確認してください。

■交通アクセス

JR宇都宮線「自治医大駅」より、徒歩10分

●JR新宿駅より90分 湘南新宿ライン利用の場合

●JR東京駅より90分 東北本線[宇都宮線]快速利用の場合

採用およびセミナーに関するお問合せ

自治医科大学附属病院
卒後臨床研修センター

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺3311-1

TEL. 0285-58-7252(直通)

FAX. 0285-40-6016

E-mail rinshoukenshu@jichi.ac.jp

